

たくさん体験と思い出とともに帰国

小野町では、国際化時代に対応する人材の育成を目的として、中学生の海外派遣事業「サマーキャンプ中学生の翼」を実施しています。

17回を迎えた今年は、団員7名・引率者3名の10名が、7月31日から8月9日までの10日間にわたり、アメリカ合衆国ニュージャージー州グレンロック町でのホームステイ、ニューヨーク州ヒルトップ町でキャンプ活動を行ってきました。

初めての外国での生活を送りながら、ホームステイでの英会話やキャンプ活動での集団生活の実践をとおして、貴重な体験を積んできました。

団長並びに団員の帰国報告を紹介します。

第17回「サマーキャンプ 中学生の翼」帰国報告

「百聞は一見に如かず」

団長(教育長) 吉田 勝人

「第17回サマーキャンプ中学生の翼」中学2年生7名、引率者3名の団長として、7月31日から8月9日の10日間、前半がニューヨーク市から車で約50分のニュージャージー州のグレンロック町でのホームステイ、後半がニューヨーク州ハンコックにあるヒルトップでのキャンプへ行ってきました。団員7名という今までで最少のグループでありましたが、一人ひとりのモチベーションが高く、みんな積極果敢に行動していました。

図書館・消防署などの町の公共施設を見学したり、ニューヨーク市街での見学・買い物など、日を追うごとに、片言の英

語や日本語にもかかわらず、ホストファミリーの人達とも慣れ親しみ、笑い声も聞かれるようになりました。パンや肉を主食とする食事、ドルと円、家屋様式の違いなど、数え切れない異文化の体験をしました。キャンプでは、様々な国から来ている子ども達との活動・食事、キャンプ生活などをとおしての交流乗馬・水上スキー・半日かけての川下りなど、日本では味わえない貴重な経験をしました。

小野町とグレンロック町との交流は20年ほどの実績があり、深いものがあります。出発の飛行機が3時間も遅れ、夜遅くの到着になったにもかかわらず、



ニューアーク空港に到着

町長さん、教育委員の方々、ホストファミリー、小野町にホームステイをしたことのある方々など多数が迎え、歓待してくれました。また、地元新聞のインタビューも受けました。

私は3日間、朝食前にホストファミリーのジーンさんとウォーキングをしました。街並みは綺麗で、落ち着いていて緑が多く、小鳥がさえずり、リ



ホストファミリーのジーンさんと

スやうさが庭先で見かけられました。人々は明るく、人懐っこく、話好きで、世話好きです。多くの方から、グレンロックでの滞在期間が短すぎるとのお話をうかがいました。もっと交流が深まり、このプログラムがより良いものになるよう再考してみたいと思います。

昨年サマースクールの講師だったエミリーさんとジェイン



グレンロック町長と一緒に

ンさんも会いに来てくれました。来年7月には、グレンロック町の皆さんが小野町を訪問したいという希望も聞きました。

また、区切りの「第20回サマーキャンプ中学生の翼」は、お互いにBIGなものにしようと約束してきました。それには、現在の中学1年生、小学5、6年生の積極的な参加、家族の皆様のご理解と援助が必要です。

益々国際化する中、小野町の一人でも多くの子ども達に、是非この貴重な体験をさせてやりたいものです。

最後になりましたが、このプログラムに深いご理解と援助をいただきました町当局、ホームステイ・キャンプを完璧に企画運営してくれたクリスティン先生ご夫妻、また、グレンロックの町長さんをはじめ、家族の一員として迎えてくれたホストファミリーの皆さん、いつも温かく迎えてくれるキャンプ場のオーナーであるビルさんがいたからこそ、不自由な言葉の壁を越えて、安心して、楽しく、充実した10日間を過ごし、無事帰国できたものと思っています。多くの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

「seeings believeings」



キャンプ場の子ども達と